

城北

令和5年6月30日
佐野市立城北小学校
発行者 片岡 博志

事前アンケートをもとに、児童一人一人と前期教育相談を行いました。生活の中で感じていることや悩みなど、普段なかなか話せないことも一対一でじっくりと話し合うことができました。教育相談期間が終わっても、いつでも相談しやすい雰囲気づくりを心掛け、児童たちが安心して、楽しく過ごせる学校づくりに取り組んでいきたいと思えます。

教育相談中は日程を変更し、40分間のロング昼休みとしました。友達同士で鬼ごっこやドッジボールをしたり、虫探しをしたりと楽しく過ごしている様子が見られました。



ひかえめな態度

どん欲でなければ

武器を捨て

戦いをやめるようになる

武器を捨て

戦いをやめれば

ひかえめな態度でふるまうようになる

ひかえめな態度でふるまうようになれば

自分の幸福はほどほどにし

人の幸福を考えるようになる

人権読本「じんけんの詩」

今野敏彦 著 明石書店

*今野氏は、寛容とは、

「他者を正しく理解し尊重し、自分とは異なる特性をもって生きる他者と共存・共生し、他者の意見や生活のあり方を認める人間の能力」としています。

自分自身はひかえめに、周りの人々には寛容な人間でありたいものです。

城北小学校の人権教育

城北小学校の人権教育目標は、「豊かな人間性や自尊感情を育成するとともに、人権の大切さに気付き、差別のないよりよい人間関係を醸成することに努める態度を育てる。」です。自分や友達一人一人をかけがえのない存在としてとらえ、互いに認め合い、いきいきと活動する児童の育成を目指しています。良いところはなかなか自分では気付くことができません。学校、そして家庭においても児童たちの良いところを見付け、積極的に伝えることで自尊感情を高めていきましょう。

🍀 「人権の花」運動を実施しております 🍀

6月13日（火）「人権の花」贈呈式が行われました。この「人権の花」運動は、児童が協力し合って花を育てることを通して、協力・感謝することの大切さを学び、生命の尊さを実感する中で、人権を尊重する態度を育てることを目的として行われています。

贈呈式では、人権擁護委員、法務局、人権・男女共同参画課の方々から、児童が花の苗を手渡されました。いただいた花の苗は、福祉委員の児童が花壇に植え付けをしました。水やり等の世話をして大切に育てていきたいと思えます。

人権の花贈呈式の様子



人権の花を植えている様子



🍀 6月12日(月)～6月23日(金) 校内人権旬間 🍀

校内人権旬間は、全校児童と教職員が人権について考える10日間です。

第1週では、いじめについて考えるDVDの視聴を全学級で実施しました。さらに、担任による「いじめについて考える授業」（道徳や学級活動など）を行い、いじめを防ぐためにはどうしたらよいのかを、学級で考えました。第2週では、各自と各学級で設定し、ワークシートを作成した「いじめゼロ行動宣言」を意識して生活することができたかを中心に振り返りをし、カードに記入しました。

児童一人一人が“いじめをなくすために”や“友達と仲良くするために”をじっくり考え、行動することができた10日間でした。校内人権旬間が終わった後も、継続して“いじめゼロ”を意識した行動ができるように指導していきます。

いじめについて考える授業の様子

